

宮代町郷土資料館だより

えんがわ

第24号

小展示 旅の絵葉書

今でも観光地へ行くと絵葉書が売られていますが、明治時代においても絵葉書は、旅先からの便りやお土産として、重要な役割を持っていました。

明治33年（1900年）に郵便制度の上で初めて認められた絵葉書は、明治37年の逓信省が発行した日露戦争に関する絵葉書の人気により、一般的な普及をしたと言われています。



展示された絵葉書の1つ



展示風景

初期の絵葉書は観光名所以外に、戦争、人物、皇室、災害、記念、事件、芸術作品など、様々な種類がありました。また、彩色が施された物や、立体の絵葉書などもありました。

今回は、町民の方々から資料館に寄贈された、明治時代から戦前にかけての絵葉書約150点を展示しました。

小展示 みやしらのれきし

～みやしろで発見された土器～

小・中学校の土曜休みに対応して、郷土資料館では、今後5回程度にわたって、宮代の歴史や行事、当時の暮らしなどについて、講座や展示等で子供たちにわかりやすく紹介していきます。

今回の展示は「みやしろで発見された土器」と題して、宮代で発掘された土器を中心に展示しました。



展 示 風 景

季節展示 端午の節句

5月5日は「端午の節供」です。「端」は「はじめ」という意味で、「端午」とは「月のはじめの午の日」という意味になります。もともとは、七種ななくさや桃の節供などとともに、中国から伝わったもので、江戸時代に「五節供」として幕府が式日しきじつ（祝日のこと）に定めたものです。

「端午の節供」は別名「菖蒲しょうぶ（あやめ）の節供」とも「五月節供」とも呼ばれています。「菖蒲」の音読みが「尚武しょうぶ」に通じることから、近世ごろからは男子の節供として盛んになり、民間でも武者人形や鐘馗しょうき、鯉こい幟ぼり、菖蒲刀などを飾ったりしました。

その他にも、流鏝馬やぶさめや凧上げなどの武張ぶばった行事なども行われました。



加藤家座敷にて展示しました

明治時代になり、「五節供廃止令」が出され、戦争などの社会事情からあまり行われなくなりましたが、戦後の昭和23年に「こどもの日」として祝日になり、現在にいたっています

季節展示 サナブリぼたもち

サナブリは田植えの終了を祝う行事です。町内の農家では、ぼたもちを作って苗とお神酒と共に荒神様に供えます。

この苗は、田植えの時に放り投げてよく立ったものをきれいに洗い、来年もまた苗がよく立ちますようにと供えます。

サナブリとは、「田の神様がのぼる(帰る)」＝「サノボリ」のことと考えられます。



加藤家土間において展示しました

季節展示 七夕

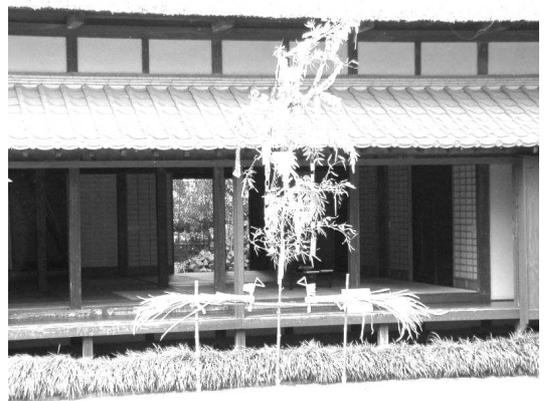
町内の農家では、8月7日（月遅れの7日）に七夕をします。

この日は、「あずきめし」やその年に収穫した小麦で「小麦まんじゅう」を作り供えます。

前日の6日には、願い事を書いた「笹かざり」やオス・メス1頭ずつの「まこも馬」を作って、庭に立てます。

この「まこも馬」は、川や用水に生えている「まこも」（葦科の植物）を干して作ります。

現在では、これらを作る家はごくわずかになってしまいました。



「笹かざり」と「まこも馬」



小麦まんじゅう

あずきめし

加藤家土間にて展示しました

コラム〜クルミの木〜

文化財案内板が、和戸公民館・金剛寺（大字須賀）・一庵坊（百間6丁目）の3箇所を設置されました。現在、町内には18基の案内板が設置されています。

資料館では、地域の歴史や行事について理解を深めていただけるよう、町内に案内板や地図、標識などを今後も設置していく予定です。



金剛寺に設置された文化財案内板

資料館寄贈者名簿

下記の皆様から歴史や文化に対する資料をご提供いただきました。厚く御礼を申し上げます。

山本 幸吉 氏 ・ 謄写版 1式
島村 繁夫 氏 ・ さいたまけん
（県政広報）
・ 埼玉旭新聞
・ 埼玉葛時報

資料館日誌抄

《平成14年4月1日～平成14年6月30日》

4月19日 町史編集委員会議

4月10日 季節展示 端午の節句（～5.10）

5月 1日 小展示 旅の絵葉書（～7.14）

5月 1日 季節展示 サナブリぼもち（～6.1）

5月18日 かご作り教室 第1回

5月25日 かご作り教室 第2回

6月 1日 かご作り教室 第3回

6月13日 町史編集委員会議

6月23日 演奏会「琵琶のしらべ」

6月27日 季節展示 七夕（～8.8）

宮代町郷土資料館だより えんがわ 第24号

発行日 平成14年8月1日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

電話番号 0480-34-8882

HP <http://www2.town.miyashiro.saitama.jp>